

研究課題（テーマ）		医薬品工学科のキャリア形成支援	
研究者	所属学科等	職	氏 名
代表者	医薬品工学科	教授	長井 良憲
研究結果の概要			
当学科では、2017（平成 29）年 4 月の学科設置から、県内製薬産業を担う人材育成を目指して教育・研究を行ってきた。2025（令和 7）年の卒業生 39 名のうち、18 名が就職した。そのうち 12 名が富山県に本社を置く企業であった（全員が富山県に勤務）。また、本社所在地が県外であっても勤務地が富山県内の卒業生は 2 名であった。就職者以外の卒業生 21 名は、本学大学院博士前期課程に進学した。2025（令和 7）年の大学院博士前期課程の生物・医薬品工学専攻修了生 27 名のうち、医薬品工学科所属は 9 名であった。そのうち 2 名が富山県に本社を置く企業に就職した（2 名とも富山県に勤務）。また、本社所在地が県外であっても富山県内勤務地となった修了生は 1 名であった。さらに、修了生 1 名が本学の博士後期課程に進学した。以上から、県内で活躍する人材が確実に育成できていると考えられる。 令和 6 年度は、当学科 1 期生（大学院博士前期課程修了）1 名と 3 期生（学部卒）1 名による講演会を開催した。講演者からは、医薬品業界の現状や業種、職種、就職活動の取り組み、研究活動を仕事にどのように活かすか、在学期間にやっておいた方がよいこと等、様々な具体的なアドバイスがあり、在学生の就職支援において役に立つ有意義な機会を与えることができた。講演会の参加者アンケートから、講演会は大変好評であり、今後も継続的に実施することが重要であると考えられた。 また、学生居室に無線ルーター、プリンター等を整備することにより、卒研究生・博士課程の学生の研究環境の改善を図った。 これらの実績により、当初の目的は達成できたと考えられた。			
今後の展開			
令和 6 年度は、卒業生 2 名による講演会を実施したことで、在学生に多くの学びの機会を与えることができた。製薬関連企業で活躍する卒業生も増えてきていることから、今後は多様性に富んだより多くの卒業生による講演会の実施が期待できる。また、県内製薬企業の工場見学や会社訪問、交流会、会社説明会の開催の機会を増やし、県内就職率の向上や企業リテラシーに富んだ有能な人材の育成に繋がることが期待できる。			